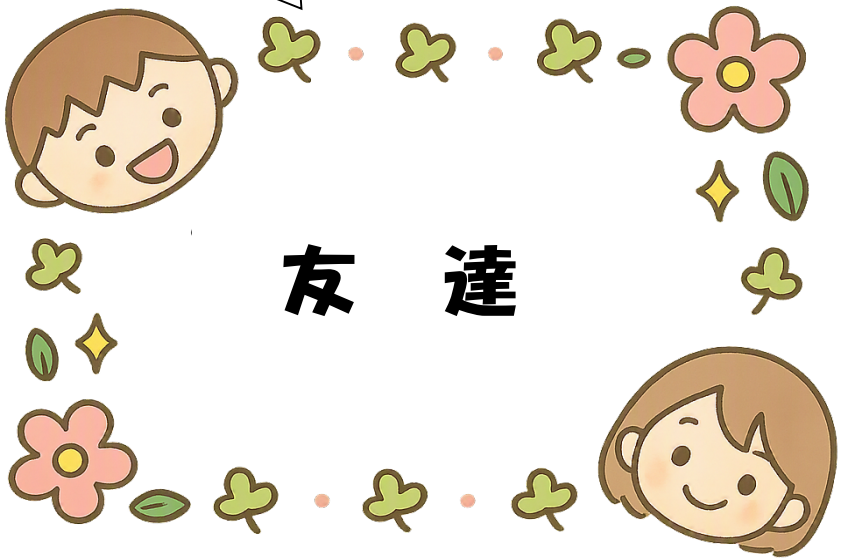
平成１８年　１月編集・発行
平成２１年　１月改訂
平成２４年　９月改訂
令和　８年１１月改訂
仙台市こども若者局
幼稚園・保育部　運営支援課

保育者からの
メッセージ



友　達

　好きな友達ができて友達と遊ぶことが楽しくなる時期。
　自分の思いを相手にうまく伝えられないことからぶつかり合いになったり、友達から離れて一人で遊んでいたり…。
　お子さんの気持ちに合わせて、友達との関わりを応援してみましょう。

どうしてけんかするの？

・自分の「思い」と友達の「思い」の違い
・思うようにならないもどかしさ、くやしさ
・遊具や遊び場所などの取り合い

このようなことを経験しながら葛藤を経験する時期

思い通りにならない経験を積み重ねながら、自己主張する力や、相手の気持ちに気付く力が育っていきます。そして、ゆずり合ったり、思いやったりする気持ちが芽生えていきます。

けんかは、こどもの成長にとって

大事な経験です。

★大人にとってはささいなことでも、こどもにとっては大きな出来事です。

お子さんがしたかったことや伝えたかったことを理解して、「〇〇って言ってみよう」など、どうすればよいのかを一緒に考える機会にできるといいですね。

どうして一人であそんでるの？

夢中になっている
一人でじっくり遊びたいこともあります。
好きなことを十分楽しむことも大切です。

にこにこしている
友達の様子に関心をもって見ている姿も大切にしたいですね。お子さんの気持ちを受け止めながら、見守っていきましょう。

友達から離れて一人で遊んでいる時は、お子さんの遊ぶ様子や表情をよく見てみましょう。

しょんぼりしている
そばに行って「どうしたの？」とそっと声をかけてみましょう。
どう遊んでいいのか分からない時や、遊びに入りたい気持ちはあるけど踏み出せない時には、すぐに友達の中に入れようとせず、大人と遊びながら一緒に遊ぶ楽しさを経験していけるといいですね。

うずうずしている
遊びたいのに入っていけないようなら、気になっている遊びにお子さんが入って行けるよう、大人が「一緒に遊ぼう！」と誘い、きっかけを作ってみましょう。